

前立腺がん  
の監視療法



前立腺がんの治療法に「監視療法」という方法があると聞きましたが、どのような方法ですか？



「監視療法」

とは、検査で見

つかった前立腺がんがすぐに治療を必要としないと判断された場合に、治療せず経過観察を行う方法で、

前立腺がんの治療に伴う苦痛や生活の質の低下を避けることが目的です。「監視療法」の適

応となる患者さんは、がんが小さくて悪性度が低い場合で、3〜6カ月ごとに前立腺がんの腫瘍マーカーである前立腺特異抗原（PSA）検査や1〜3年ご



との前立腺生検を行い、病状悪化の兆候が見られた場合に治療を開始します。近年、診断技術の向上で、前立腺がんが早期に発見されるようになってきましたが、おとなしい前立腺がんの場合には「監視療法」も一つの選択肢となります。



高知高須病院  
副院長 松下 和弘さん

高知市大津乙2705-1 TEL088-878-3377 〈泌尿器科〉